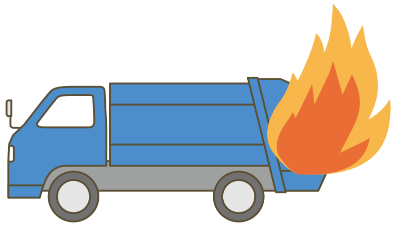
「引火性・発火性のあるごみ」の出し方

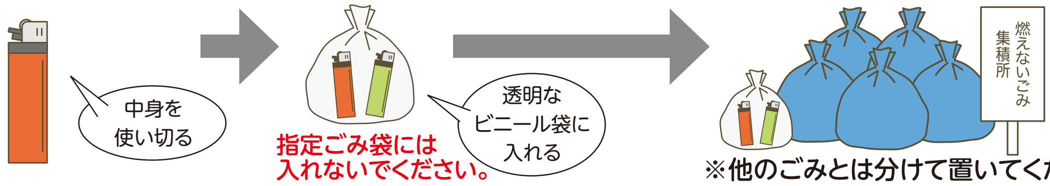
収集車や処理施設での火災事故が多発しています！

可燃性ガスが残ったライター・カセットガスボンベ・スプレー缶をそのまま収集車に入れると、収集車内にガスが充満し、金属の摩擦による火花によって火災が発生します。
火災による事故を防ぐため、必ず出し方を守ってください。



ライター（ガス・オイル）

中身を完全に使い切り、透明な袋に入れ、
燃えないごみの日に集積所の隅に置いてください。（※どうしても中身が使い切れない場合も同様）



※他のごみとは分けて置いてください。

カセットガスボンベ・スプレー缶

❶スプレー缶等の中身を空にしてください

スプレー缶やカセットガスボンベの中身が残っているときは、使い切って、空の状態にしてください。
（例）●製品に記載してある方法でガス抜きをお願いします。
※ガス抜きの方法が分からないときは、次の機関へお問い合わせください。

☆スプレー缶	一般社団法人日本エアゾール協会	TEL 03-5207-9850
☆カセットガスボンベ	一般社団法人日本ガス石油機器工業会	TEL 0120-14-9996
☆スプレー式の消火器	製造メーカーまたは日本消防検定協会	TEL 0422-44-8451

❷スプレー缶等に穴は開けないでください

スプレー缶やカセットガスボンベに穴を開けると、火災事故等の原因になりますので、穴は開けないでください。

❸スプレー缶等は透明な袋に入れてください

スプレー缶やカセットガスボンベは、中が見えるように、透明な袋に入れてください。

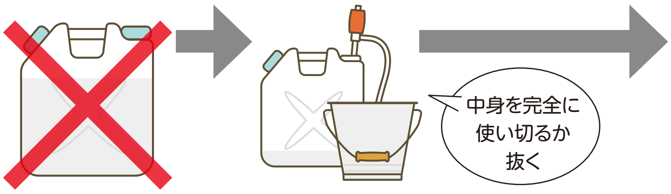
❹資源物・有価物回収日に出してください

中身を空にしたスプレー缶やカセットガスボンベは、透明な袋に入れて資源物回収日または有価物回収日に出してください。

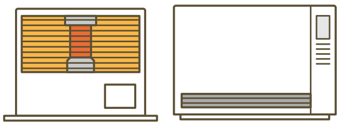
※他のごみとは分けて置いてください。

燃料が入っているもの

ポリタンクなどの容器や石油ファンヒーター・石油ストーブなどは、
必ず燃料（液体）などの中身を抜いてから出してください。



中身を使い切ったポリタンク（容器）は**可燃性粗大ごみ**へ



石油ファンヒーターや石油ストーブは電池を抜いて**資源物**または**有価物**へ

お問い合わせ先	ごみ収集課 ☎055-241-4313	ごみ減量課 ☎055-241-4327